

高瀬神社 社報

越中一宮



第18号

平成20年7月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏



卯月の空が爽やかに晴れわたり、吹く風に新緑の香り漂う素晴らしい佳き日の平成二十年四月二十五日、午前九時から皇大神宮（内宮）で、午後一時から豊受大神宮（外宮）で、新宮御敷地の鎮地祭が斎行されました。私は幸にもこの祭儀に神社庁長として参列させていただきました。

当日の正午過ぎに豊受大神宮、火除橋の広場に参集し、修祓（おはらい）を受けて、新宮御敷地に参入し、心静かに祭儀の始まりを待ちました。時刻、大宮司はじめ神職、式年遷宮造宮庁の参事・技官、鎮地の儀、所役の禰宜一人・権禰宜三人、物忌（童女）一人、宮掌三人が順次参進し、祭儀が始まりました。

大勢の奉仕員の中で、目を引いたのは物忌を奉仕する童女です。彼女は久田麻由さんという伊勢市立明倫小学校二年生でした。白練絹の清冠をつけ、紫袴に白

色の装束を着て、木靴を履き、神職とともに真剣に奉仕してまいりました。ご存知の方もおられますが、内宮・外宮の御本殿敷地の庭上には、握りこぶしほどの大きい石がたくさん敷き詰められています。それゆえ、ごつごつして歩きにくいのです。その上、慣れない装束を着けての奉仕、私は思わず、転倒など粗相のないうように最後まで無事に奉仕できました。献饌から始まり、草刈り初めの儀、穿初めの儀に至るまで、小さな身体で一生懸命奉仕された姿



は、真に清々しく、そして美しい姿でした。私はその尊い奉仕ぶりに心が洗われる思いがし、とても感動致しました。まさに当日の空のような爽やかな心持でありました。

私たち各神社の神職も氏子の方々の地鎮祭を奉仕します。儀式としては神宮と同じような形式で執り行うわけですが、我々の奉仕ぶりが、今回の神宮の鎮地祭に参列して感動したのと同じように、氏子の方々も感じておられるのか、今一度考えてみなければならぬと思います。

小さな子どもで、しかも素人で、それでも多くの人に感銘を与えることが出来るという奉仕ぶりについて、神職として学ぶべきところ大いにありと思います。

神社庁長、また一社の宮司として考えなければならぬことは、まず神職自身の更なる研鑽ということ、そして次に神社に関わることに全般について、氏子崇敬者の皆さんに説明し、理解してもらおうこと。これらのことは、式年遷宮という千年を超える昔から伝わっている儀式を伝えていくためにも愈々益々必要とされることであります。この度は、そういう示唆をいただいた大変

に有り難い参列となりました。

ご参考までに鎮地祭当日にいただいた資料をご紹介します。古来変わらぬ次第によって斎行されている様子がわかると幸いです。

皇大神宮
豊受大神宮

平成二十年四月二十五日

※式外参列者第一鳥居外にて
手水、列立

※式外参列者修祓、参集

※式外参列者正式参拝（二拝一拍手一拝）

※式外参列者新宮御敷地に参入

禰宜一員、権禰宜四員（三員）

宮掌三員物忌参進川原祓所二列立

次二宮掌祓ヲ修シ大麻御塩ヲ執

リテ忌物神饌及諸員ヲ祓清メ祝

文ヲ奏ス

次二忌物神饌辛櫃ヲ昇立テ新宮

御敷地ニ著ク

※式外参列者起立誓折

次二禰宜以下五丈殿前庭ニ至ル

次二大宮司以下参進五丈殿前庭

ニ列立（出門ノ際宮掌御塩ヲ以

テ清ム）

- 次二大宮司以下中重二参進
- 次二参事以下中重二参進（出門ノ際宮掌御塩ヲ以テ清ム）
- 次二諸員版二著ク
- 次二諸員奉拝八度拍手両端二著ク
- 次二諸員新宮敷地ニ至リ版二著ク
- 次二物忌権禰宜（宮掌）忌物神饌及鶏卵ヲ奠ス
- 次二権禰宜（宮掌）祝詞ヲ奏ス
- ※式外参列者起立磬折
- 次二諸員奉拝八度拍手両端
- 次二物忌権禰宜（宮掌）忌物神饌及鶏卵ヲ撤ス
- 次二物忌忌鎌ヲ執リテ草ヲ刈初ム
- 次二物忌権禰宜（宮掌）忌鎌ヲ執リテ御敷地ヲ穿初メ奉ル
- 次二物忌宮掌忌物ヲ地中ニ納奉ル
- 次二諸員一拝
- ※式外参列者拝礼（二拝二拍手一拝）
- 次二諸員退下
- ※式外参列者退下

以上

鎮地祭（解説）

鎮地祭は、地鎮祭または地曳祭とも云い、遷宮のための新御殿を造営するにあたり、新御敷



地（現在の古殿地）に坐す大宮の神を鎮めまつるお祭りです。この祭典は古来重く扱われ、その日時は天皇陛下のお定め（御治定）を仰ぐことになっており、今回は左記の通り両正宮を始め別宮の日時のお定めをいただきました。

外宮での祭儀は、大宮司、少宮司以下の神職式年遷宮造営庁の参事、技監以下及び遷宮奉賛会関係者の式外参列者のもとに、権禰宜一員、権禰宜三員、物忌（童女）一員、宮掌三員が奉仕します。物忌は古来重誦祭典に奉仕し、「あこめ」という装束を着けます。次第は定刻（午後一時）祭員参進。御池のほとりの三ツ石前の川原祓所にいたり修祓。忌物、神饌を納めた辛櫃をかきて新御敷地へ進み、これに伏籠に入つた一つがいの白鶏が続きます。途中権宜以下の祭員は五丈殿前で大宮司以下の参列員の参進を待ちます。時

をはかり参進した大宮司以下は、五丈殿前庭で先着の禰宜以下の祭員と合流し、正宮中重に進み八度拝を行った後、新御敷地の祭場にいたります。祭場は心御柱覆屋を前にして、中央黄幣、東北に青幣、東南に赤幣、西南に白幣、西北に黒幣が立てられます。祭場に全員が着くと、物忌と宮掌が椀案（皮のついたままの椎の枝で作った案）に、忌物、神饌、鶏卵を奉奠。宮掌が祝詞を奏上します。次に八度拝を行い、忌物、神饌等を撤した後、物忌（童女）宮掌ともに進んで忌鎌を持ち、まず中央の黄幣、ついで青赤白黒の各幣の前で草刈りの儀式を行います。次に忌鎌をとり御敷地を穿ちはじめの儀があり、次に忌物を地中に埋めます。最後に一拝を行い（式外参列員二拝二拍手一拝）この儀を終えます。

- 平成二十年
- 鎮地祭日時
- 皇大神宮
- 四月二十五日午前九時
- 豊受大神宮
- 四月二十五日午後一時

- 皇大神宮別宮
- 荒祭宮
- 四月二十五日午前十一時
- 月読宮
- 四月二十六日午前十時
- 月読荒御魂宮
- 四月二十六日午前十一時
- 伊佐奈岐宮
- 四月二十六日午前十時
- 伊佐奈弥宮
- 四月二十六日午前十一時
- 瀧原宮
- 四月二十八日午前十時
- 瀧原竝宮
- 四月二十八日午前十一時
- 伊雑宮
- 四月二十八日午前十時
- 風日祈宮
- 五月一日午前十時
- 倭姫宮
- 五月一日午前十時
- 豊受大神宮別宮
- 多賀宮
- 四月二十五日午後三時
- 土宮
- 五月二日午前十時
- 月夜見宮
- 五月二日午前十時
- 風宮
- 五月二日午前十一時

以上

祭事暦

「春季祭」齋行

新しき春への喜びと感謝の誠心をささげ、今年の豊作をお祈りする「春季祭」が、去る四月十日、役員・氏子・崇敬者をはじめ約三十名の参列のもと齋行されました。

宮司祝詞奏上につづき、雅楽会「鳳鳴クラブ」による奉楽により神楽「浦安の舞」が奉奏されました。



祈年穀祭

去る六月十日午前十時より、天武天皇九年より続いている特殊神事の「祈年穀祭」が村上勝則福光農業協同組合代表理事組合長を参向使に迎え、齋行されました。

まず権宮司が御神前で御神火を熾し、行燈のロウソクに忌火を点火しました。

宮司の祝詞奏上につづき、砺波地区農業協同組合協議会からの幣帛が供えられ、祭文が奏上されました。

本殿での祭典後、宮司から参向使に忌火が手渡され、境内大鳥居前に整列、備えられたかがり火に点火して、参列者一同拝礼しました。

また、多年にわたり農業の発展に寄与された功労者に「根尾宗四郎氏・上田又一氏遺徳顕彰事業」により農事功労表彰が送られました。

(農事功労表彰)

金森良昭様(砺波市太郎丸)



翌十一日には神輿が砺波地区の各農業協同組合を巡幸し、各農協では組合長以下職員総出で神輿を迎え、本年も豊作になるよう祈念しました。



御神山「牛岳」のこと 開山祭・例祭

去る五月十八日、御神山の「牛岳(標高九八七m)」の開山祭、また六月六日に例祭が奥宮で斎行され、富山市側と砺波市側の二つの登山口より約四〇〇名の登山者が入山し今年の登山の安全を祈りました。

本年は残雪もありましたが、登山者には豚汁や記念品が振る舞われ、初夏の楽しい一時を過ごしました。



金 婚 祭

四月八日「金婚祭」が斎行され、高瀬地区老人クラブ連合会（久田久伸会長）の会員約八十名が参列しました。

祭典につき、本年金婚を迎えられた三組のご夫婦に、金婚祝証と記念杯が宮司より贈呈されました。

また、本年も祭典に先立ち境内の清掃奉仕が行われました。（金婚者）

岩倉政之・トメ子（南砺市高瀬）
岩倉邦良・富美子（南砺市高瀬）
竹村保信・紀子（南砺市三清東）



春のお茶会

北日本新聞社主催の「第三十三回となみ野茶会」が桜花爛漫の四月十三日開催されました。

煎茶道松風流の水口文苑さんが席主を務めました。

床の間には、軸「益蘭の図」（池大雅筆）が飾られ、「コブシ」「シヤクナゲ」「カリン」が白磁の花入れに生けられました。

三〇〇名を超える参加者が心づくしのお点前を満喫しました。



（北日本新聞社提供）

献 花 式

高瀬遺跡保存協会（竹村武夫会長）主催の「第三十四回菖蒲まつり」が六月二十一・二十二日の両日開催されました。開催に先立ち「献花式」が拝殿で斎行され、関係者約二十名が見守る中、「ししょうぶ」が御神前に供えられました。



祭典後、オープニングパレードが表参道より高瀬遺跡まで行われ、メインステージでは氏子の雅楽会「鳳鳴クラブ」をはじめ各種団体の清興が会場を盛り上げ、両日共大勢の拝観者で賑わいました。

八乙女山開山祭

去る六月一日、当地方特有の春と秋に吹き荒れる大風を鎮めるために建立された「風神堂」の例祭が、八乙女山（標高七五六メートル）



の山頂で斎行され、神職・巫女が奉仕しました。

本年は建立五十年、また、「とやまの年中行事百選」に選定されたこと

もあり、大勢の参列者で賑わい、風災無く無事過ごせるよう一同で祈りました。

（井波行政センター提供）



献穀田だより

「御田植祭」 齋行

本年も井波地域中核農業士協議会（片田功会長）により献穀田が執り行われることとなり、去る五月十八日「御田植祭」が、南砺市井波軸屋の吉川順一氏（本年奉耕者）の水田で齋行されました。

天候にも恵まれ関係者六十名が参集し、五名の早乙女によりコシヒカリの苗を丁寧に植えられました。



九月中旬の「抜穂祭」で刈り取られる稲は御神前にお供えされるほか、伊勢の神宮にも奉献されることになっております。

◇本年早乙女奉仕者

- 長谷川佳子（大学一年）
- 水野 千春（高校二年）
- 和田 素子（大学一年）
- 松井香穂里（専門学校一年）
- 滝谷美紗子（大学一年）

参 拜 日 誌 抄 (敬称略)

(平成二十年三月～五月)

「三月」

三日

普明会教団福野支部

十一日

山野保育園一同 一〇〇名

十三日

立正佼成会（清掃奉仕）

十四日

献穀田種粉清祓式

二十一日

献茶奉賛会役員会

二十五日

豊国神社氏子総代（長浜市）

十五名

六日

普明会教団高岡支部

十三日

立正佼成会（清掃奉仕）

七日

南砺市交通安全協会

（春の交通安全祈願祭）

八日

氏子清掃奉仕（村総出）

高瀬地区老人クラブ連合会

（金婚奉生古祭）（清掃奉仕）

南砺市シルバー人材センター

三十七名

十一日

利賀村森林組合（安全祈願祭）

二十二名

十三日

北日本となみ野茶会

三十三名

二十七日

パステルエンジニアリング(株)

（創立記念日）

四日

普明会教団福野支部

七十二名

「四月」

三日

富山県神道青年会（定例総会）

十五名

普明会教団福野支部

四日

砺波森林組合（安全祈願祭）

七十二名

「五月」

三日

普明会教団福野支部

十二日

真清田神社敬神婦人会

三十一名

十三日

立正佼成会（清掃奉仕）

十九日

神社庁砺波支部研修会

二十一日

高瀬神社崇敬会北関東支部

藤井 直和

齊藤 隆夫

石島 久司

団体参拝のご案内

事業所の安全祈願・創立記念日等の各種祈願を随時受け付けております。

お問い合わせは社務所までお願い致します。

(初穂料)

一〇,〇〇〇円



ご結婚おめでとうございます

昨年十二月から本年五月まで御婚礼の御儀を執り行われた皆様です。

(挙式日、時間順)

(十二月)

一日

宮本 雅彦様
ゆかり様

二日

前田 将様
亜希子様

八日

田嶋 正志様
真生子様

十六日

浦野 直義様
真知子様

十九日

高田 聖司様
順子様

(二月)

三日

綿谷 雅敏様
真里様

十一日

松長 玲志様
杏奈様

二十三日

高嶋 宏樹様
慶子様

石坂 誠様
裕美様

(三月)

一日

下段 芳博様
香世様

八日

大田 直樹様
まり様

十五日

工藤 悠市様
睦子様

二十三日

村田 憲信様
悠美子様

二十九日

福田 浩士様
彩紀様

三十一日

北市 一仁様
真弓様

(四月)

十二日

高田佳寿夫様
美樹様

二十日

高田 章一様
和美様

二十八日

相澤 行広様
恵様

三十一日

吉田 慶生様
美幸様

(五月)

二日

北尾 準様
絵美様

四日

寺井 宏介様
聡子様

二十七日

山名田 洋様
美歌様

二十六日

南 孝様
尚永様

二十日

諏訪 豊様
智子様

二十六日

栗山 浩様
克子様

二十六日

物田 将志様
杏子様

二十六日

藤坂 吉昭様
淑惠様

ご新郎ご新婦の末永いご多幸とご両家益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

ご案内

例祭

九月十三日(土)

午前十時より齋行

御本社につづき功霊殿大祭を

齋行いたします。

皆様おそろいでご参拝下さい。

第四十六回奉納剣道大会

九月十四日(日)

午前九時より奉告祭

砺波地区内の小中学生・高校

生剣士の熱戦が展開されます。

応援をお願いします。

第三十五回献茶式

十月二十六日(日)

午前十一時齋行

(お茶席・二席)

午前八時三十分～午後三時

(ご奉仕)

古儀数内流竹風会小矢部支部

(茶券)

一枚三千元(短冊・点心付)

七五三詣

本年は次の通りです

○七歳(女子) 平成十四年生

○五歳(男子) 平成十六年生

○三歳(男女) 平成十八年生

元服祝(男子)

十五歳(平成六年生)

髪上祝(女子)

十三歳(平成八年生)

安産祈願

戌の日(七月～十二月)

(七月) 九日(水)

(八月) 二日(土)

(九月) 十四日(木)

(十月) 二日(火)

(十一月) 七日(日)

(十二月) 十九日(金)

(一月) 七日(日)

(二月) 二十七日(土)

(三月) 十三日(水)

(四月) 一日(水)

(五月) 十三日(月)

(六月) 一日(水)

(七月) 十三日(月)

奉納

○「境内参道玉砂利舗設」

砺波市庄川町

(株)川上建拓

代表 川上光泉殿

平成二十年四月二日



編集後記

去る六月十四日に発生しました、「平成二十年岩手・宮城内陸地震」におきまして、被災されました方々に、衷心よりお見舞い申し上げます。また共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、本年も水無月大祓で「茅の輪」をくぐり、半年の罪穢れが取り除かれました。

氏子・崇敬者の皆様には、これから迎える暑い夏を清々しくお過ごし下さいますようお願いしております。

【表紙写真】

高瀬神社稲荷社鳥居

越中一宮高瀬神社にお仕えて60年余り 皆様から愛される 南部スタジオ (神社専属)



婚礼から初宮、七五三と 家族の写真物語を お撮り致します。

—— 写真は一生の宝 ——

南部スタジオ

南砺市山下27 TEL 0763-82-0130 FAX 0763-82-6954